

共生

奈良県生協連

2008年1月

NO.67

万葉のいぶきを求めて—(32)



明日香風にゆれるコスモスの花

うねめ そで
采女の 袖吹き返す 明日香風 都を遠み いたづらに吹く
し きの みの 子
志 貴 皇 子

志貴皇子はNO.64でも取上げました。天智天皇の皇子でありながら不遇の生涯を送らざるを得ませんでした。まさに一幅の絵を見るような美しい歌を残しています。

飛鳥地方には歴代天皇の宮がいくつも営まれてきましたが、そのなかで次第に国家としての形が整えられ、持統天皇694年に飛鳥浄御原宮あすかきよみはらから藤原宮へと都が移されました。

飛鳥に都があった頃は、美しい采女の袖を吹き返していた明日香風も、都が遠くへ行ってしまった今では空しく吹いているよ。

都を中心とした賑わいは、うたかたの夢のように消えてしまい、廃墟となった宮跡を吹きぬける明日香風はむなしく、人々にとっては感無量の思いであったのでしょうか。

甘樫丘を背にして、采女の姿をほうふつとさせるコスモスの花が、吹きぬける明日香風にゆれていました。



年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

奈良県生活協同組合連合会 会長理事 逸見 啓



奈良県生活協同組合連合会(県連)に結集されている会員、組合員の皆さま、そして奈良県の生協運動の活動と事業にご協力いただいている皆さまには、希望の新年を迎えられたことと思います。

私たちは、1990年5月発足以来、県内生協の連帯と協同を強め、生協運動の視野と可能性を拡大してまいりました。昨年は、新たにウィルコープならをお迎えし、9生協、組合員数約28万人を誇るまでになりました。今後とも、協同・連帯し、奈良県下の豊かなくらしのために前進してまいりたいと思います。

国内外の政治、経済の不安定さに加え、日本経済も足元では粘り腰を見せていますが、先行きに不透明感が増しています。米国サブプライム問題、原油・原材料高に引っ張られる形での物価値上げ、賃金の伸び悩み、格差問題、多発する食品不祥事、医療、年金、介護など社会保障分野での国民負担増、給付減、消費税引き上げの方向など、多重な不安に縮む事態が進行しています。そのうえ、平和憲法のもと、戦後国民の草の根的な努力によって営々として築きあげてきた体制が危機に瀕しています。「平和とよりよき生活のために」をスローガンとして戦後の生協運動は出発しました。くらしの基礎に平和があることをしっかりと踏まえて歩みたいものです。かかるくらしと生活の多重不安の増大のうえに、流通情勢はますます競合が進み、私たちの運動と事業において厳しい流れが強まっています。組合員の皆さんの声を中心に運動と事業の改革・再構築を進め、今こそ生協の出番を創造しなければなりません。

「消費生活協同組合法」(生協法)の改正が、国会・厚生労働省をはじめ関係各位のご尽力で、1948年(昭和23年)制定以来59年ぶりに実現しました。消費者の暮らしの到達点、

社会的要請を踏まえただうえに、食の安全、環境・福祉の取り組み、子育て支援、災害時救援など、生協の社会的役割と貢献、期待が高く評価されたものと思われます。今後、各生協にあって、こうした役割、期待に応えて、事業の一層の健全性を確保し改正生協法に基く組織・運営の整備を早急に行い、県民・消費者や地域社会に貢献していくことが大切です。

県連が参加する消費者支援機構関西(KC's)が、消費者被害の未然防止、拡大防止にその役割を果たすことが期待される消費者団体訴訟制度の「適格消費者団体」として認定されました。今後、消費者の観点から市場の監視をするという社会的役割を自覚するとともに、その役割を積極的に果たせるように体制と信頼の構築をしていくことが大切です。

今後とも県行政との協力関係を維持し、県議会政党・各派への渉外活動、他団体とのネットワークなど県連活動を着実に進展させていきたいと思ひます。

極めて厳しい経済的・社会的状況の下とはいえ、国民一人ひとりが、これからのくらしに明るい希望の灯が感じられる年でありますようにと、心から祈らずにはおられません。最後に、会員生協におかれましては、組合員の期待と信頼に応え、「自立した市民の協同の力で人間らしいくらしの創造と持続可能な社会の実現を」という生協の21世紀理念の実現のために奮闘していただくようお願いいたしますとともに、県連活動にさらなるご支援、ご協力をお願いします。





年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

奈良県知事 荒井 正吾



奈良県消費生活協同組合並びに関係者の皆様、明けましておめでとうございます。

平成20年の年頭にあたり、皆さまのご健勝・ご多幸を心からお祈り申し上げます。

さて、昨年5月の知事就任以来、何事にも懸命に取り組む姿勢で職務にあたってまいりましたが、改めてその職責の重大さを痛感しているところです。本年も、県民のニーズに真摯に応じていくことが県政第一の課題と考え、情報公開に努めるとともに、広く意見交換を行い、「親しみのある、開かれた県庁」となるよう努力していきたいと考えています。

また、県政を進める上での基本姿勢として、財政健全化を図りつつ、必要な施策を積極的に実行する「課題から逃げない県庁」を目指したいと思います。

特に、財政健全化のための「経済活性化」は、県政の中心的課題として、そのために必要な目標や方策を盛り込んだ「奈良経済発展戦略」を策定し、実行に移します。また、私自ら、トップセールスを積極的に行い、企業立地の促進、奈良県産物の売り出し、奈良への観光客の誘致などに努めるとともに、民間企業経験者を活用した企業誘致活動や、県内経済を刺激する行動を積極的に展開したいと考えています。

さらに、2年後に迫った平城遷都1300年記念事業を一過性のものとせず、今後の奈良県観光の発展に大いに資するものとなるよう、平城宮跡を国営公園として整備することとし、記念事業の実施を通して、奈良県全体が国際的な歴史文化観光拠点として発展できるよう努めてまいります。

また、地域医療提供体制の充実が喫緊の重要課題です。妊婦救急搬送事案の事故後に立

ち上げた調査委員会で提言された対応策に基づき、一次救急体制の確保や総合周産期母子医療センターの整備など、諸課題に対しての施策を順次実施し、質の高い医療サービスの提供に努めていきます。

その他、あらゆる課題に対して、県民の皆さまの安全と安心を追求し、信頼される県政をさらに発展させるべく全力で取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

一方で、消費生活協同組合を取り巻く状況につきましても、大きく変化しております。昨年5月には、59年ぶりに生協法が改正され、本年4月1日から施行されます。

さらに、嬉しいニュースとして、昨年末には、ならコープが第1回「地域のCSR(企業の社会的責任)大賞」に選ばれました。今後とも、各生協におけるコンプライアンスの取組みの推進については、大いに期待しているところであります。

貴連合会におかれましても、これまでと同様に、消費者や生活者の視点を重視する発想のもと、各生協が21世紀の生協としてふさわしい機能を持ち、消費者の支持が得られるよう、各生協への積極的な支援をお願いするところです。最後に、奈良県生活協同組合連合会並びに各生活協同組合のますますの発展を祈念申し上げて、新年のあいさつとさせていただきます。

もくじ

年頭のご挨拶	1～2
奈良県生協大会	3
平和課題	4
食の安全課題	5

消費者課題	6
広がる協同・人の和	7～8
つながる連帯・友好の輪	9～10

第18回 奈良県生協大会を開催しました！



07年12月1日(土)猿沢荘(奈良市)にて第18回奈良県生協大会を開催、組合員理事を含めた会員生協役員59名が参加しました。はじめに、所用による欠席の県連逸見会長に代わって瀧川副会長が挨拶を行い、来賓として県食品・生活安全課課長堀川幸男様よりご挨拶をいただきました。

今回は「食育」をメインテーマに、奈良農政事務所地域課消費経済係長新庄敏子氏に基調報告をいただき、その後2つの会員生協より活動報告が行われ、県連小委員会の取組みとして「こむらいふ奈良」からは消費者問題に関連した研究結果の報告があわせて行われました。終了後の懇親会では、会員生協相互の交流が深まりました。



瀧川県連副会長



食品・生活安全課
堀川課長

【各報告の主旨】

- 「皆で楽しく食育をはじめましょう！」奈良農政事務所 係長 新庄敏子氏
「食」をめぐる現状から「食育」で身につけたい能力、食育の実践事例、食事バランスの問題等について解説、背景にある自給率問題などにも触れ「食育」のめざすものとして、知識や能力の習得で、健全な食生活を実践することが出来る人間育成にあることし、参加者の認識を深めるものになりました。
- 「田んぼの生き物調査について」コープ自然派奈良 専務理事 前田陽一氏
2003年からコウノトリと共生する水田作りが兵庫県豊岡市ではじまった。この取組みに2年前から運動して、各地で食育の一環として田んぼの生き物調査を実施。食と環境について考えるきっかけ作りとともに、参加した子供たちもいきいきと自然とのふれあいを楽しみながら学びにも繋がっています。
- 「食の取組みと、行政との連携について」ならコープ 理事 吉川英子氏
県下39の組合員組織としてコープネットがあり、活動の一課題として「食育」の取組みが進んでいる。全体では、食育意識の引き上げを目的に冊子「たべる大切キッズクラブ」を県内小学生対象に年4回発行、その他「女性農業士との交流」、「食育公開講座」、「たべるたいせつフェア」等の開催や行政の審議会への代表派遣などが特徴的と言えます。
- 「今どきのカード事情について」こむらいふ奈良 代表 辻 由子氏
現在、メンバー11名が在席。くらしの中の「カード」について調査を行い、小冊子にまとめた。キャッシュレス時代、便利になった反面、消費者の意識と法の整備の遅れが現状。年々進化し、多機能化・複雑化が進みカード被害やトラブルが増加している現実があり、各自がカードの特性・仕組みを理解し、計画的かつセキュリティー管理の徹底が呼びかけられました。



朗読劇「この子たちの夏 1945 ヒロシマ ナガサキ」 ピースキャンドル

ピースアクション2007の取組みは、リレー行進に変わるあらたなアピール行動として3年目を迎え、昨年のピースキャンドルの継続開催を柱に、幅広く誰もが参加でき、平和の想いを強く訴えることのできる企画を積み上げてきました。今年は、ならコープ「WITHユニセフの会」からユニセフ活動の現状について、また朗読劇を会員生協組合員による手作り公演が行われました。



本番前のリハーサル風景

□10月6日県文化会館小ホールとつどいの広場において、ピースアクション2007実行委員会主催で開催。当日は、組合員、学生など156名が参加しました。前半、ユニセフ活動について、ならコープ「WITHユニセフの会」杉木愛子さんがラオスの現状について報告、その後朗読劇「この子たちの夏 1945 ヒロシマ ナガサキ」を公演しました。大人と子供の混成による朗読者16名が、スライドと音響をバックに、演劇制作体「地人会」によって編集された被爆体験手記を平和への思いを込めて読みつなぎました。



WITHユニセフの会 杉木愛子さん

□参加者アンケートからは、映像ではなく言葉で伝える情景に、違った感動と平和への思いを深めることが出来たと言う声が多く寄せられ、特に子供たちの朗読参加に対して、若い世代への継承への評価と必要性についての感想も多く寄せられました。



ピースキャンドル点灯

□会館入口前広場では、ピースキャンドルを点灯、キャンドルには、事前に組合員から寄せられた平和への願いを綴ったメッセージカードを巻きつけ、ロウソクには般若寺「平和の塔」よりいただいた火を点灯しました。クラシックギターによるミニコンサートなども開催し、夕暮れの薄明かりの中に浮かび上がるキャンドルやギターの音色に、観光客も足を止め聞き入る姿も見られ、落ち着いた雰囲気の中で行く夏を惜しみ、平和への思いを深めました。



「ルージュ」によるミニコンサート

□同時に、サークル「おてんとさん」（ならコープ）によるソーラーランタンの点灯も行われました。太陽光発電によるランタンがピースキャンドルに混ざって点灯され、参加者の関心を引き、環境問題についてもアピールしました。

国内における BSE の評価と管理を考える～学習会報告～

厚労省が8月、「と畜場における20ヶ月齢以下の牛のBSE検査への国庫補助を終了する」との発表を受けて、10月11日、全国消費者団体連絡会と日本生活協同組合連合会の共催で食品安全委員会、農水省、厚労省から講師を招き学習会と意見交換を行いました。

☆「日本のBSEリスク評価」について；食品安全委員会山本茂貴氏

- 生体牛へのプリオン蓄積度は、BSE牛の発生を生年と確認年を見ると2グループに分かれ（図）、「侵入リスク」「飼料規制」などの効果から今後の発生は「非常に低い」～「低い」といえる。
- 食肉の汚染度では「SRM除去」「BSE検査」の状況などから「無視できる」～「非常に低い」といえる。
- 科学的には検査を21ヶ月齢以上にしても事実上変化なしとの答申をした。

☆「BSE国内対策」について

農水省沖田賢治氏より「飼料規制・死亡牛検査・トレーサビリティ」について

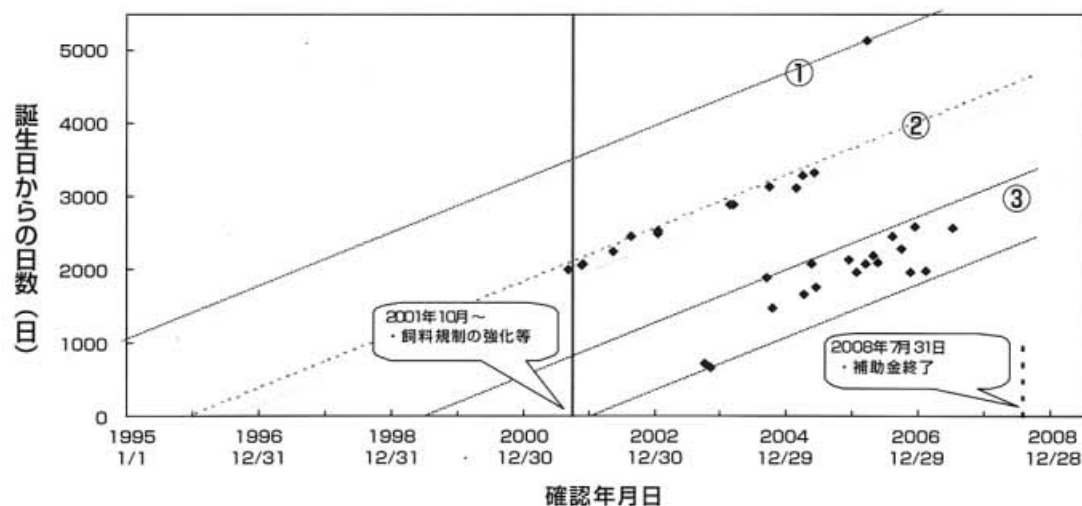
厚労省森田剛史氏より「と畜場・食肉処理」関係について

飼料規制やトレーサビリティの進捗状況と、と畜場でのBSE対策の現状が報告された。

☆参加者56名が五グループに分かれて意見交換。出された主な意見は

- SRM除去が重要であって、全頭検査は補完的な意味合い。

BSE感染牛の確認年月日と、誕生日からの日数の関係



- 科学的な安全と心理的な安心に開きがある。もっと消費者に説明すべきでは？
- 原因がはっきりしていない以上、国として検査は続けるべきではないか？将来プランが見えない。
- 全頭検査するかどうかは自治体の判断になるが、畜産県にとって負担増。生産振興からも考える必要がある。
- 米国産牛輸入との関連が疑われているが、たまたま重なっただけ等の発言がありました。

奈良県連としては畜産振興の意味からも全頭検査の継続を県に要望しています

インターネットでお買い得!?

インターネットショッピングの中でも人気のオークションやフリーマーケット。手軽でお買い得なようにだけ落とし穴も。KC'Sの提言から要約しました。

□インターネットオークション

インターネットオークションには、ヤフー、楽天、モバオク、ビッターズなどがあります。もともとオークションは一般消費者には縁の無い商取引でしたが、インターネットの普及の中、リサイクルの場としてだれでも参加（出品・入札）でき、スタート以来10年で2009年には2兆円市場が予測されています。今では業者の出品も増え、広がりと共に被害も拡大しています。

しくみ

- サービス提供者（ヤフー、楽天など）：ルールを整備し、手数料を取ってシステム提供
- 出品者：登録し、写真や情報を添えてサイト上に出品
- 入札者：購入希望価格を提示
- 落札者：出品者と入金や配送方法を直接交渉

トラブル

- 代金取込み型：代金を振り込んだのに商品が届かない
- 偽物納品型：落札者に違う商品や劣悪商品が送られてくる
- 商品取込み型：商品を送ったのに、出品者に未着として返金させたり再度送らせる
- 偽計入札型：高額入札で落札してからキャンセルし、入札を妨害する
- 出品者なりすまし型：第三者がキャンセルを装い、落札できなかった入札者に入金させる
- 自転車操業型：入金させてから商品を調達。焦げ付き、落札者に商品が届かない恐れがある

対策（そもそも詐欺行為目的の場合、防ぐのは難しい）

- 入札者：掲示写真がカタログ写真などは要注意。具体的な使用感などを質問をしてみる
- 落札者：代金引換えや代金決済サービスなどを利用する。内容不備の場合は直接交渉になる
- 出品者：取り込み詐欺はサービス提供者や警察に通報
- サービス提供者：ID発行時の本人確認、登録制度（配達業者の本人確認）。評価システムの精度を上げるなど
- 補償制度：各社により補償内容に違いがある

□インターネットフリーマーケット Amazon など

同じような形態ですが、Amazonの場合は出品者と購入者の間に介在し、商品の到着を確認してから入金するシステムでトラブル防止をしています。出品者と入札者の直接交渉のおもしろさはありませんが、より安全です。

□ITショッピングなどの法整備の遅れ

99年、OECDが出した「電子商取引における消費者保護ガイドライン」が一般原則になっていますが、消費者契約法、特定商取引法の外に置かれており、早急な対応が望まれます。

情報

★ 消費者セミナー「人ななせだまされるのか—消費者の心理とその防止—」

● 2008年2月15日（金）13：30～16：50 ● 会場：大阪 ドーンセンター

★ シンポジウム「インターネットオークションにおける消費者被害対策（仮称）」

● 2008年3月8日（土）午後 ● 会場：大阪うつぼ公園 科学技術センター

詳細は KC's へ 06-6945-0729 又は <http://www.kc-s.or.jp/>

新年おめでとうございます。
 県連役員・事務局から新年のご挨拶に代えて
 インタビューでお答えします

インタビュー項目

- ① 氏名 (肩書き)
- ② 昨年一番心に残ったことは (20字以内)
- ③ 今年の干支は「子」
 ねずみといえば○○○○○! その心は
- ④ 今年、ひそかにやってみたいことは
 (20字以内)
- ⑤ 生協(県連)自慢「うちの生協(県連)は
 ここが一番!」(20字以内)

- ① 逸見 啓 県連会長
 (員外 阪南大学教授)



- ② 公は食品不祥事、私は勤続40年無事定年
- ③ 変化とスピード! その心は、
 マウスイヤー
- ④ 特別にはないが、何事にも感謝と無事息災
- ⑤ 「和して同ぜず」の精神かな

- ① 瀧川 潔 県連副会長
 (員外 ならコープ特別顧問)



- ② 憲法九条に幅広い関心が集まったこと
- ③ 「繁殖力旺盛」…生協活動への参加をどんどん増やそう!
- ④ 百名山の14峰登頂計画を達成すること
- ⑤ 県内で活動する全ての生協が元気に県連結集

- ① 仲宗根 迪子 県連専務理事
 (ならコープ理事)



- ② 母の旅立ち。97年の旅を豊かに静かに終えることができたこと
- ③ ネズミ捕り 昔は網かご、今はスピード違反の取締り。捕まったねずみに情けは無用
- ④ それは秘密です! ハングルが読めたらなあ～という願いはありますが…
- ⑤ 小さいけれど、和やかなこと、年齢巾が広いこと

- ① 森 宏之 県連理事
 (市民生活協同組合ならコープ理事長)



- ② 地球の温暖化による気候変動で自然災害頻発
- ③ 大黒様! 新規開拓に挑戦し、コツコツと努力を惜しまねば「商売繁盛」と「事業繁栄」はまちがいなし
- ④ 自らの率先垂範をめざして、地域社会貢献活動に挑むこと
- ⑤ 市民生協ならコープとグループ子会社の成長

- ① 前田 陽一 県連理事
 (コープ自然派奈良専務理事)



- ② 一職員から専務就任へと180度の転身
- ③ ドラえもん ドラえもんのポケットのように組合員に夢を与えられる生協になりたい
- ④ 海外旅行! でもお金も時間もなさそうです
- ⑤ 我が生協「農・食・環境への取り組み一番」を目指しています! 県連は大学・地域・労済とそれぞれ立場も規模も違いますが、とても一体感があります

- ① 立石 昭彦 県連理事
 (ウィルコープなら理事長)



- ② 酷暑手当が必要なくらいの夏季の高温(とそれへの対策)
- ③ とにかく走る!! 自立経営へより早く到達する年へ
- ④ 家庭菜園で豆類の栽培を増やすこと。目標は5品目(これまで4品目でした)
- ⑤ 牛乳びんの回収率(デポジット制なので当然ですが)の高さと、職員の平均年齢の若いこと(26歳台です)

- ① 竹内 繁 県連理事
 (奈良女子大学生協同組合専務理事)



- ② 29年ぶりに食堂が改装され、見違えるようなお店になったことです
- ③ 米俵と解く その心は、ご飯を食べてダイエット中(チュウ)
- ④ 毎週(土曜日)朝食を食べてダイエットのウォーキングに参加する
- ⑤ 奈良女生協に美味しく楽しい食事はお任せ!! わが県連は学生を大切にふれあいの場を提供しています

① 山下正純 県連理事
(奈良教育大学生協同組合専務理事)

② 参議院選挙での自公の大敗北!

③ 旧家の正月! 昔、土間にたくさんいたから、今では懐かしい

④ 留学生交流会とお国自慢料理!

⑤ 奈良県連の無理強いしないアットホームなところ!



① 山田政広 県連監事
(奈良県労済生協監事)

② あまり良い話ではないが、食品に関する偽装表示、何処までいくの...『OO、おまえもか!』って感じ

③ ミッキーマウス。その心は、老若男女問わずファンがいっぱい!

④ ここで述べると、ひそかでなくなるので、そっと胸においておきます。悪しからず



① 崎濱 誠 県連理事
(奈良県立大学生協理事・店長)

② 店舗が新装オープンしたこと。とても大変だったけど、いい経験ができました。奈良の大学生協や京都事業連合の仲間、そして職場スタッフと教職員、たくさんの学生達の応援で出来上がりました

③ あっという間の年男! もう3回もまわってきたのに...

④ ひそかにではないけど、心と体のトレーニング!

⑤ みんなで支え合おうとしていること。心強い仲間がいっぱいです



① 竹田恵子 県連監事
(コープ自然派奈良監事)

② 三人目の出産と日々成長する子ども達

③ ねずみ捕り! その心は今年こそ安全運転をお願いします

④ 一人で映画鑑賞・旅行に行くこと

⑤ 私たちが直面している問題に取り組んでいる



① 三輪敏通
(奈良県労済生協専務理事)

② 4月に孫ができたことです

③ ねずみといえば深夜の若者と解きます! その心は夜中に活動(チョコチョコ)します

④ ぶらっと誰にも言わずにひとり旅(海外旅行)をしたい

⑤ 全職員が常にお客様の目線に立った対応をしていることくらいです



① 友金 一 県連理事
(奈良高等工業専門学校生協店長)

② 奈良高専生協のホームページが公開された事

③ ねずみといえば灰色。深い意味はないです

④ 自分の自由になる時間がもっとほしい!

⑤ 組合員の平均年齢と店長の精神年齢の若さ



① 青木秀俊
(ならコープ組織広報部部长)

② 参院選での与野党逆転。ずっと、テレビ見つづけてました

③ ねずみといえば、わたし! ナント、気持ちは24歳!

④ 溪流釣り。足を忍ばせ、影を隠して密かに釣らないと大物はかからないのだ

⑤ 組合員と役職員が元気で、いっしょに社会活動に参加していること、かな?



① 森田真次 県連理事
(樟蔭女子大学関屋キャンパス生協理事・店長)

② 安倍首相が政権を投げ出したこと

③ 干支のはじまり。何か新しいことを始める年にしたいですね

④ 健康のために西国のお寺を回ってみたいです。あとは、サーフィン

⑤ 学生の元気とそれを支える理事の先生方のパワーでしょうか。一番奈良市内から離れた生協ですが、これからも宜しくお願いします



① 増本正明 県連事務局長

② 大学の同期生が難病で亡くなり、残す人生どう生きるべきか考えさせられたこと

③ パソコンのマウスと解く。ビッグマウス(大口)は使いにくい。出来ることから堅実に積み上げて、会員生協活動への貢献に繋がります

④ 一億分の一の出会いを大切に。いろいろやってみたい、行ってみたい

⑤ 顔が見える関係で、肩肘はってお付き合いしなくてもすむこと



本年もよろしくお祈りします!

つながる連帯・友好の輪

□奈良 YMCA 反核平和の集いが開催されました。

10月8日県文化会館小ホールにて(財)奈良YMCA主催、奈良県生協連後援「第22回反核・平和の集い」が開催されました。YMCA関係者や一般参加者含め約120名が参加。ヒロシマ平和文化センター理事長スティーブン・リーパー氏による「『平和文化の構築』—核兵器廃絶に向けて—」をテーマに基調講演が行われ、草の根運動の広がり的重要性や日本の役割に期待が述べられました。



□多重債務対策支援講座について

10月27日奈良若草の会(奈良クレジット・サラ金・悪徳商法被害をなくす会)主催による同講座が奈良県中小企業会館にて開催され、県連は後援団体として参加。国会議員はじめ行政担当・弁護士・司法書士・相談員等関係者及び一般県民162名が参加しました。

はじめに、弁護士宇都宮健児氏による「自治体における多重債務者対策に求められるもの」をテーマに基調講演があり、取り立ての実態では、テープで実際の事例が紹介されました。



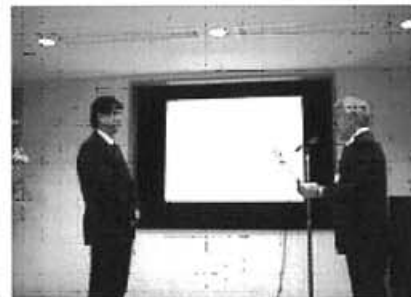
□なら食文化研究会イベント

11月4日ならまちセンター(奈良市)において、奈良の郷土料理と特産品を広く知ってもらうことを目的にNPO法人「奈良の食文化研究会」(理事長 大川博文)主催による「第二回出合い大和の味フェア」が開催され、賑わいました。県連は同会の正団体会員として加盟、瀧川 潔県連副会長が理事として参画、今フェアでは実行委員長を務めました。ならコープからは菜の花プロジェクトの活動紹介を兼ね菜の花油を使った「大学いも」の販売ブースなども出展されました。



□市民が選ぶ「第1回CSRプラス大賞」で「地域のCSR大賞」をならコープが受賞しました!

11月9日日本財団主催の市民が選ぶ「第1回CSRプラス大賞」でならコープが「地域のCSR大賞」を受賞しました。この大賞は、日本財団が企業のCSR活動を評価し、市民投票で、大賞を選ぼうと今年初めて開催したものです。CANPAN CSRの企業データベースで情報公開度の高い企業15社と地域のNPOセンターが推薦した企業18社、計全国33社がノミネートされ、9月14日から10月1日までの間インターネットでの投票が行われ、ならコープは「地域のCSR大賞」に選ばれました。



□ 07 年度第 2 回生協行政合同協議会

11 月 15 日県文化会館にて、県食品・生活安全課堀川課長様にご出席をいただき協議会を開催しました。同協議会は例年春と秋に開催、今年度 2 回目の開催となり、事前に提出しました「08 年度に向けた要望書」に対する回答をいただくとともに、意見交換を行いました。主な要望事項として食の安全に関わる事項では、1)BSE 検査関連 2) 食肉偽装表示等、消費者行政では団体訴訟制度と適格消費者団体について、防災では、物資協定の見直しについて要望を行いました。

□ 「関西地連災害対策協議会」が開催されました

11 月 21 日ホテルクライトン新大阪において開催され、地連管内の府県連及び地域生協・事業連合担当者 64 名が参加しました。主に、過去の災害対応事例の報告と、事例報告から学んだこと、また課題についての意見交換が行われました。

平時からの協議の積み上げと顔が見える関係作り・反復訓練の積み上げが、迅速な対応に繋がることが教訓として上げられました。



□ 消費者支援機構関西主催「行政懇談会」が開催されました

12 月 4 日消費者支援機構関西（以降 KCS）主催で、相互理解を目的に近畿の消費者行政担当者との懇談会が大阪で開催されました。

会場には、近畿 2 府 5 県（福井県含む）の各行政担当者（福井県は欠席）と KCS 会員として各府県の生協連合会及び関西の関連団体から代表者計 20 名が集まりました。奈良県からは、食品・生活安全課 古市主幹と食品・生活相談



センター 大前次長にご出席いただきました。はじめに KCS 千神副理事長の挨拶、同黒木検討委員長がこれまでの活動状況について報告を行いました。

各府県の行政からは相談業務の現状と特徴について報告があり、奈良県では、「適格消費者団体に対する情報提供に関する取扱い要領」が近畿でも最初に連携のシステムとして公開され、先進性が注目されました。その後、意見交換が行われ、行政からは「KCS が期待する情報内容について」、「知名度の問題について」等積極的な発言があり、KCS への期待が伺えました。今後、顔が見える関係作りがさらに重要になります。

「住まいと暮らしのフェスタ」開催のご案内 — 建築物安全安心フォーラム —

参加無料

■と き：平成 20 年 1 月 27 日(日) 10～16 時

■ところ：生駒市北コミュニティセンター ISTA はばたきホール

- ・セミナー「知っておきたいリフォームの POINT」講師 リフォームの匠 岡部克也氏
- ・住まいの何でも相談コーナー、地震体験コーナー、木工体験コーナー、絵画作品展示コーナー（生駒市内小学生応募作品）

■問合せ先：奈良県土木部建築課 0742-27-7564

県連日誌

10月

- 2日 地連運営委員会
- 6日 ピースキャンドル・朗読劇
- 8日 YMCA 反核平和の集い
- 9日 奈良市清掃業務審議会
違法建築撲滅キャンペーン
街頭啓発出発式
- 11日 BSE 学習会
- 15日 KC'S 認定記念セミナー
- 18日 地連府県連協議会
- 27日 多重債務対策支援講座
消費者団体等懇談会
- 30日 県もてなし推進フォーラム

11月

- 1日 消費生活審議会
- 4日 食文研イベント
- 8日 防災プラットフォーム委員会
- 9日 ピースアクションまとめ会議
- 15日 行政合同協議会・県連理事会
- 21日 地連災害対策協議会
- 26日 県指導検査
(奈良女子大生協)
- 27日 近畿地区府県連協議会

12月

- 1日 第18回奈良県生協大会
- 奈良県合同防災訓練
- 2日 県地方自治フォーラム
- 4日 地連運営委員会
- 6日 日生協「改正生協法学習会」
- 10日 こむらいふ奈良
- 12日 全国県連責任者会議
- 19日 県水田農業推進会議



お知らせ 「悪質商法対策講座」が開催されます！

悪質商法による被害が拡大しています。被害にあわないために手口や対策について学びます。また、時事問題を独特のパフォーマンスで表現するコント集団「ザ・ニュースペーパー」が来演します。是非、ご参加下さい！

日時

2008年2月9日(土) 13:30 (13:00 受付開始) ~ 16:00

会場

ならまちセンター 市民ホール

内容

- 1部 基調報告「悪質商法の手口とその対策について」
- 2部 コント集団「ザ・ニュースペーパー」来演！

■申込先：奈良県生活協同組合連合会 FAX0742-34-0043 かハガキ、
E-mail kenren@naracoop.or.jp で住所・氏名・電話番号・人数記入。(住所下記)

■締切り：2008年2月1日まで(先着順)

■主催：奈良県、奈良県金融広報委員会、奈良県生活協同組合連合会

編集後記

毎年暮れに「今年の漢字」が発表されますが、昨年は「偽」！ 疑・騙・怒・嘘：こんな字も候補にあったようですが残念なことでした。協同組合の定義と価値には倫理的価値として「誠実・公開・社会的責任・他人への配慮」が謳われています。この言葉を大切に日々の活動を進めていきたいと思えます。(迪)

疑い出せば切りが無いほど多発する食品及び表示偽装の問題。一体何を信じればよいのか戸惑ってしまいます。収益を追求する余り、企業倫理に反する行為が逆に、大きな損失を招く結果になったものとして、消費者の立場に立って顕実に事業を進めることが、何よりも大切な信頼を高める上で重要なことではないか、社会貢献が求められるようになり生協の存在価値が高まる中、他山の火事ではなく、襟を正すことが必要ではないかと考えさせられました。(正)